

# キアロスクーロ・カルテット

アリーナ・イブラギモヴァ  
(ヴァイオリン)

シャルロット・サルスト=ブリドゥ  
(ヴァイオリン)

エミリエ・ヘーンルント  
(ヴィオラ)

クレール・ティリオン  
(チェロ)

## ベートーヴェン弦楽四重奏曲 全曲演奏会 (全6回)

ベートーヴェンの  
光と影を描き出す。

# Chiaroscuro Quartet

Alina Ibragimova : Violin | Charlotte Saluste-Bridoux : Violin | Emilie Hörnlund : Viola | Claire Thirion : Cello

Ludwig van Beethoven : Complete String Quartets

Vol.1

2026年 7月7日 | 火 19:00開演 | 18:00開場

弦楽四重奏曲 第3番 二長調 Op.18-3  
String Quartet No.3 in D major, Op.18-3

弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 Op.135  
String Quartet No.16 in F major, Op.135

弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 Op.59-2 「ラズモフスキー第2番」  
String Quartet No.8 in E minor, Op.59-2 "Rasumovsky No.2"

Vol.2

2026年 7月9日 | 木 19:00開演 | 18:00開場

弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 Op.18-5  
String Quartet No.5 in A major, Op.18-5

弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 Op.132  
String Quartet No.15 in A minor, Op.132

全席指定 | 各¥7,000

現代屈指のヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァを筆頭に、ヨーロッパで高い評価を得ているキアロスクーロ・カルテットがいよいよベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会を行います。既にCDでは名盤をリリースし、ウィグモア・ホールなどで高評を得ており、2027年ベートーヴェン・イヤーに向けて満を持してのコンサート。ガット弦による斬新かつ知的なアプローチでベートーヴェンの、人間の光と影を生き生きと現代に描き出します。

### キアロスクーロ・カルテット

ヒストリカルで新鮮なアプローチをガット弦で演奏するキアロスクーロ・カルテットは2005年に結成。そのしなやかで優雅でダイナミックな演奏は、並外れたユニークな音色だけでなくアンサンブルに知性ある姿を兼ね備え、ヨーロッパの聴衆から高い評価を受けている。25/26シーズンは、ロンドンのウィグモア・ホールとベルリンのブルーズ・ザールのレギュラー出演を継続し、ウィーン・コンツェルトハウス、ルクセンブルク・フィルハーモニー、バービカン・センター等で演奏する。これまでパリのルーヴル・オディトリウム、エクサン=プロバンスのジュ・ドゥ・ポーム劇場、ボンのベートーヴェン・ハウス、ロンドンのキングス・プレイス、また北米ツアーでボストン、サンフランシスコ、バンクーバー、モントリオールの各都市で公演を行う。著名音楽祭にも数多く招待され、ザルツブルク音楽祭、オールドバラ音楽祭、エジンバラ音楽祭、スイス・グシュタードのメニューイン音楽祭で演奏。16年、スウェーデンのBISレーベルと録音契約を結び、最新の録音はハイドンの「ロシア四重奏曲」作品33 | 4番・5番・6番(25年)。これまで室内楽でトレヴァー・ピノック、クリスティアン・ベザイデンホウト、セドリック・ティベルギアン、ジョナサン・コーエン等と共演。



Charlotte Saluste-Bridoux

Alina Ibragimova

Emilie Hörnlund

Claire Thirion

## Chiaroscuro Quartet

シャルロット・サルスト=ブリドゥ  
(ヴァイオリン)

フランス生まれ。2021年ヤング・クラシカル・アーティスト・トラストおよびコンサート・ギルド国際コンクールのグランプリを受賞。22年Classic FMからライジングスター・アーティストにノミネートされ、23年ボーンマス交響楽団、24年バーミンガム市交響楽団でデビュー。25年デュオ・パートナーのジョゼフ・ハヴラットとウィグモア・ホールで共演。アリーナ・イブラギモヴァの下で研鑽を積み、ロンドン王立音楽院を卒業。

アリーナ・イブラギモヴァ  
(ヴァイオリン)

ロシア生まれ。モスクワのグネーシン音楽学校で学ぶ。1995年イギリスに転居しメニューイン・スクール、ロンドン王立音楽院、クロンベルク・アカデミーで研鑽を積み。ウィグモア・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、モーツァルテウム、ウィーン・ムジークフェライン、カーネギー・ホール、ザルツブルク音楽祭、オールドバラ音楽祭に出演。ソリストとして、ロンドン交響楽団、ロイヤルコンセルトヘボウ管弦楽団等と共演。

エミリエ・ヘーンルント  
(ヴィオラ)

スウェーデンのエーテボリ生まれ。ファルン音楽学校、ギルドホール、ロンドン王立音楽院で研鑽を積み。ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団の正式メンバーで、2010年からスウェーデン王立歌劇場の首席ヴィオラ奏者を務めている。イギリス室内管弦楽団、フィルハーモニー管弦楽団、エイジ・オブ・インライトゥメント管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団等の主要オーケストラのメンバーとしても活動している。

クレール・ティリオン  
(チェロ)

フランス生まれ。パリ国立高等音楽院、ロンドン王立音楽院で研鑽を積み。2006年、タゴール・ゴールド・メダルを授与。08年から10年まで、エマニュエル・ハイムス・アンサンブルとル・コンセル・アストレーの首席コンティヌオ奏者を務める。また、ロンドン交響楽団、エイジ・オブ・インライトゥメント管弦楽団のメンバーとして、また数多くの古楽プロジェクトにゲスト・リーダーとして招待されている。



王子ホールは文化庁が推進する「東京アート&ライブシティ構想実行委員会」に参加しています。

●チケットのお問い合わせ・お申し込みは

王子ホール  
チケットセンター

03-3567-9990

<https://www.ojihall.jp/>

●発売日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

※即日完売の場合もございますので、ご了承下さい。

※通常営業日:月曜～金曜 10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/>

■ローソンチケット:0570-000-407 <https://l-tike.com/> (Lコード32797)

■e+イープラス:<https://eplus.jp/oji/>

《発売日》2026年4月25日(土)  
12:00から発売します。

●お席は全席指定です。●楽章間のご入場はできません。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

ACCESS

- 地下鉄銀座駅 A12出口より 徒歩1分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分
- 地下鉄銀座一丁目駅 8出口より 徒歩5分
- JR有楽町駅 銀座口より 徒歩7分



OJI HALL

A member of the OJI Group

銀座 王子ホール 〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5

このチラシは王子製紙OKTOPコートマットN菊判76.5kgを使用しています。

